

◎第2回理事会 (41.7.22) 出席者：篠原会長、水野、酒井、畑谷、最上各副会長、羽田専務理事、飯吉、久保、米谷、近藤、堺、佐藤、多谷、成岡、成瀬、藤田、村上、横戸、吉田の各理事。議事録署名理事の決定：篠原会長、羽田専務理事、久保理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布状況。3) 各種委員会その他。4) 8学会会務担当理事会報告。B. 協議事項：1) 第53回通常総会および第22回年次学術講演会の開催について。2) 国際水理学会 (IAHR) の日本招致について林水理委員会副委員長より説明があり了承。3) 田中賞基金の運用について羽田専務理事および飯吉理事より説明があり了承。4) 国際写真測量学会第5部会開催の協賛について羽田専務理事より説明があり了承。5) その他；①会員の入退会、②土木計画委員会設置に関する件。6) 委員委嘱について

① 土木学会誌編集委員会

委員長 増岡 康治 建設省大臣官房技術調査官室

- 委員 和田 万里 通産省公益事業局水力課
- 〃 官田 浩造 建設省大臣官房建設機械課
- 〃 縄田 照美 建設省河川局治水課
- 〃 小笹 太郎 大林組土木本部技術部
- 〃 森野 敏夫 総理府首都圏整備委員会事務局計画第2部
- 〃 土居 則夫 鉄道建設公団本社計画部計画課
- 〃 丸山 速夫 建設省都市局下水道課
- 〃 町田富士夫 国鉄建設局調査課
- 〃 富永 正照 建設省土木研究所赤羽分所
- 〃 仁木 理夫 日本道路公団技術部構造設計課
- 〃 松本 嘉司 東京大学工学部
- 〃 渡谷 祥夫 国鉄施設局土木課
- 〃 高橋 裕 東京大学工学部
- 〃 吉田 正吾 鹿島建設KK土木設計部
- 〃 浅沼 堯 KK橋梁設計事務所
- 〃 中山 隆 営団建設本部設計部計画課
- 〃 進藤 忠夫 都水道局給水部浄水課
- 〃 谷本 誓一 神戸大学工学部
- 〃 沼田 耕一 日本道路公団福岡支社工事部設計課

委員兼幹事

- 岡田 哲夫 首都高道路公団工務部第2設計課
- 〃 服部昌太郎 中央大学理工学部
- 〃 本山 篤 建設省大臣官房技術調査官室

② 文献調査委員会

- 委員長 松本 嘉司 東京大学工学部
- 委員 梅本 尚孝 石川島播磨重工業KK鉄構事業部橋梁設計課
- 〃 島津 晃臣 建設省土木研究所千葉支所
- 〃 藤井 敏郎 小野田セメント中央研究所

- 委員 渡辺 啓行 電力中央研究所技術研究所
- 〃 青木 佑久 建設省土木研究所赤羽分所
- 〃 田畑 茂清 建設省土木研究所赤羽分所
- 〃 鹿島 達一 電力中央研究所技術研究所
- 〃 早川 典生 東京大学工学部
- 〃 柴田 正雄 建設省土木研究所千葉支所
- 〃 下田 公一 建設省都市局区画整理課
- 〃 元山 宏 日本道路公団技術部技術1課

- 〃 山口 雅三 国鉄鉄道技術研究所

③ 出版企画委員会

- 委員 島田 英雄 八幡製鉄KK建材開発部
- 〃 内藤 幸徳 中央大学理工学部
- 〃 赤塚 雄三 運輸省港湾技術研究所
- 〃 色部 誠 電力中央研究所技術研究所
- 〃 和田 明
- 〃 西野 文雄 東京大学工学部
- 〃 増岡 康治 建設省大臣官房技術調査官

幹事 鈴木富千代 水資源開発公団

④ 土木図書館運営委員会

- 委員 吉川 秀夫 東京工業大土木工学科
- 〃 渡辺 隆 東京工業大土木工学科

委員兼幹事

- 浅田 忠則 運輸省港湾局建設課
- 〃 渡 日出教 東京大学工学部
- 〃 川口 昌宏 中央大学理工学部
- 〃 園広 安彦 農林省農地局建設部総務課
- 〃 高野 博 電力中央研究所技術研究所
- 〃 西野 文雄 東京大学工学部
- 〃 原田 静男 都立田無工業高校
- 〃 宮原 玄 早稲田大学理工学部

⑤ 土木学会誌編集委員会審判小委員会

- 委員 高橋 裕 東京大学工学部
- 〃 岡内 功 中央大学理工学部
- 〃 小笹 太郎 大林組土木部技術部
- 〃 新谷 洋二 東京大学工学部
- 〃 西沢 紀昭 中央大学理工学部
- 〃 土屋 雷蔵 建設省道路局高速道路課
- 〃 本間 修一 国鉄構造物設計事務所
- 〃 浅川 美利 日本大学理工学部
- 〃 福島 学 東京都水道局第1建設事務所

⑥ 構造用軽量骨材に関する研究小委員会

- 委員 野口 功 国鉄東京工務局
- 〃 小林 正儿 東京大学工学部

⑦ 岩盤力学委員会

- 委員長 岡本 舜三 東京大学生産技術研究所
- 副委員長 畑野 正 電力中央研究所技術研究所

- 委員 御牧 陽一 東京電力KK建設部土木課
- 〃 八木 則男 京都大学防災研究所治川水理実験所

⑧ P C工法小委員会 (MDC 工法)

- 委員 野口 功 国鉄東京工務局
- 〃 松本 嘉司 東京大学工学部

⑨ 原子力土木技術委員会

- 委員 中什 晋司 科学技術庁放射線医学総合研究所

⑩ 軟弱地盤耐震設計研究委員会

- 委員長 岡本 舜三 東京大学生産技術研究所
- 委員 沼田 政矩 国土館大学工学部
- 〃 高橋竜太郎 中央大学理工学部
- 〃 金井 清 東京大学地震研究所
- 〃 最上 武雄 東京大学工学部
- 〃 市原 松平 名古屋大学工学部
- 〃 福岡 正己 建設省土木研究所千葉支所
- 〃 河野 通之 日本交通技術KK
- 〃 白石 俊多 地下工事コンサルタンツKK
- 〃 大地 羊三 法政大学工学部

委員兼幹事長

- 久保慶三郎 東京大学生産技術研究所
- 委員 後藤 尚男 京都大学工学部
- 〃 山口 柏樹 東京工業大学土木工学科
- 〃 林 聡 運輸省港湾技術研究所
- 〃 池田 康平 日本鉄道建設公団計画部設計課

- 〃 斎藤 迪幸 国鉄鉄道技術研究所
- 〃 高橋 寛
- 〃 西亀 達夫 国鉄構造物設計事務所

- 〃 山田 剛二 国鉄鉄道技術研究所
- 〃 在塚 宏 国鉄構造物設計事務所

- 〃 池原武一郎 国鉄建設局線増課
- 〃 長野 逸人 国鉄施設局土木課

- 幹事 玉野 治光 首都高道路公団工務部
- 〃 大久保忠良 建設省土木研究所千葉支所
- 〃 小寺 重郎 八千代エンジニアリングKK

- 〃 吉田 嘉司 建設省土木研究所千葉支所
- 〃 松本 康司 東京大学工学部

- 〃 田村重四郎 東京大学生産技術研究所
- 〃 石原 研爾 東京大学工学部

- 〃 土田 肇 運輸省港湾技術研究所
- 〃 中井 馨人 国鉄施設局土木課

- 〃 片瀬 貴文 国鉄建設局線増課
- 〃 渡江 篤 国鉄施設局土木課

- 〃 荒川 祥夫
- 〃 室町 忠彦 国鉄鉄道技術研究所

- 〃 小林 芳正
- 〃 藤原 俊郎

- 〃 建部 恒彦 国鉄東海道新幹線支社施設部
- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課

- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所
- 〃 田村 浩一

- 〃 尾坂 芳夫
- 〃 本田 修一

- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- ⑪ トンネル用鋼アーチ支保工強度に関する研究小委員会
- 委員 村上 良丸 建設省土木研究所千葉支所

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

- 〃 野口 功 国鉄東京工務局土木課
- 〃 田田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

- 〃 田村 浩一
- 〃 尾坂 芳夫

- 〃 本田 修一
- 〃 安川 房夫
- 〃 安本 修一

◎各種委員会

(1) 文献調査委員会 (41.6.10) 出席者：松本、高橋の新旧委員長、ほか25名。議事：1) 会誌51巻8号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 担当雑誌について。4) 国際会議論文集担当について。

(2) 会誌編集委員会審判小委員会 (41.6.10) 出席者：高橋小委員長、ほか2名。議事：1) 受付中の図書目録報告。2) 受付中のランク討議。3) 受付中の書評者討議。4) その他。

(3) 岩盤力学委員会編集打合せ (41.6.14) 出席者：関係者3名。議事：「岩盤力学」の原稿整理 (各章の調整外)。

(4) 岩盤力学委員会第2回運営委員会 (41.6.14) 出席者：畑野副委員長、色部幹事長、ほか8名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 各分科会報告および運営方針について。3) 国際岩盤力学会議について。4) 第4回シンポジウム開催について。

て。5) 岩盤力学に関する講習会開催について。6) 予算(案)について。7) 「岩盤力学」(単行本)について。

(5) 水理公式集小委員会(41.6.15) 出席者: 横田委員長, ほか7名。議事: 1) 水理公式集の改訂について。2) 水理公式集の解説版の出版について。3) 水理公式集「英文版」の出版について。4) その他。

(6) 会誌編集委員会 講座執筆打合せ(41.6.16) 出席者: 樋口委員長, ほか11名。議事: 1) 測定基礎編の登載経過報告。2) 測定応用編の編集方針の討議。3) 測定応用編の登載区分と登載順序討議。4) その他。

(7) 本州四国 耐震設計小委員会幹事打合せ(41.6.16) 出席者: 関係者 17名。議事: 省略。

(8) 高校土木教育研究委員会 水理実験指導書専門分科会(41.6.17) 出席者: 関係者 8名。議事: 土質, 土木材料両実験指導書に引きつづき, 水理実験指導書の新規出版に関し内容等について種々検討した。

(9) 第6回トンネル土工調査小委員会(41.6.17) 出席者: 村山委員長, ほか7名。議事: 1) 測定法の統一について。2) 主査幹事会経過報告。3) シンポジウム開催について。

(10) コンクリート委員会打合せ(41.6.17) 出席者: 国分委員長, ほか5名。議事: 土木学会減水剤規格(案)について。

(11) 本州四国 第11回耐震設計小委員会(41.6.17) 出席者: 関係者 38名。議事: 省略。

(12) 第98回耐震工学委員会(41.6.17) 出席者: 那須委員長, ほか11名。議事: 1) 前回議事録について。2) 日本地震工学シンポジウム(1966)について。3) 新潟地震について。4) 松代地震について。5) その他。

(13) 本州四国打合せ(41.6.18) 出席者: 関係者 7名。議事: 省略。

(14) 論文集部会長会(41.6.18) 出席者: 村上委員長, 栗津(前), 都(新)副委員長, 西村, 嶋, 池田部会長, 服部幹事。議事: 1) 各部会報告。2) 論文集133, 134号登載論文の決定。3) 41年度副委員長に都 淳一氏を決定。4) 委員会の41年度の方針。5) その他。

(15) 太径鉄筋に関する研究小委員会(41.6.20) 出席者: 国分委員長, ほか9名。議事: 1) 昭和40年度研究費使用状況。2) 昭和40年度研究報告。3) 昭和40年度経過報告書, 研究報告書の作成。

4) 昭和41年度研究計画; ①昭和40年度の継手の研究, ②太径鉄筋の継手の研究, ③太径鉄筋の曲げ加工の研究。4) その他。

(16) 土木図書館運営委員会(41.6.20) 出席者: 米元委員長, ほか12名。議事: 1) 委員会の編成について。2) 委員会活動の状況報告。3) 本年度の目標。4) 各委員の業務分担。5) 41年度図書予算の配分と新規図書の購入方法について。6) その他。

(17) 岩盤力学委員会編集打合せ(41.6.21) 出席者: 関係者 3名。議事: 「岩盤力学」の原稿整理(特に第10章)。

(18) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(打合せ)(41.6.21) 出席者: 河野主査, ほか4名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂のための逐条審議。

(19) 本州四国耐震設計小委員会幹事打合せ(41.6.21) 出席者: 関係者 11名。議事: 省略。

(20) 本州四国耐震設計小委員会第42回幹事会(41.6.21) 出席者: 関係者 10名。議事: 省略。

(21) 出版企画委員会(41.6.21) 出席者: 春日屋, 森新旧委員長, 堺副委員長, ほか12名。議事: 1) 出版企画委員会内規について。2) 昭和41年度出版企画委員会の構成。3) 昭和40年度出版物収支決算報告。4) 昭和41年度出版物収支予算について。5) 当委員会が中心となって進行または企画中の出版物報告; ①土木工学叢書, ②わかり易い土木講座, ③土木年鑑1967, ④土木製図基準(I)改訂新版, ⑤水理実験指導書, ⑥土木技術スライド。

(22) 岩盤力学委員会編集委員会(41.6.22) 出席者: 岡本委員長, ほか6名。議事: 1) 経過報告。2) 「土木技術者のための岩盤力学」(単行本)原稿調整について。3) 今後のとりまとめ方法について。

(23) 第19回学術講演連絡委員会(41.6.22) 出席者: 久保委員長, ほか11名。議事: 1) 委員長の互選。2) 幹事の選任。3) 昭和42年総会および年次学術講演会について。4) 土木系学生会担当委員の選任。

(24) 土木年鑑編集委員会 第6編集打合せ(41.6.23) 出席者: 関係者 7名。議事: 第6編<統計>の目次案を中心に検討, 執筆方を内定。

(25) 第6回土木製図基準改訂委員会(41.6.23) 出席者: 菊池委員長, ほか10名。議事: 土木製図基準(I)の改訂新版

の出版についてその改訂目次案および原案を逐条審議を行なった。

(26) トンネル工学委員会主査幹事会(41.6.24) 出席者: 加納幹事長, 住友, 坂本, 西嶋の各主査, ほか5名。議事: 1) 第3回トンネル工学に関するシンポジウムについて。2) その他。

(27) PC工法小委員会(MDC工法)(41.6.24) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか20名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針(案)MDC工法施工編の逐条審議。

(28) 高校土木教育研究委員会 土質分科会(41.6.25) 出席者: 箭内委員長, ほか4名。議事: 1) 土質実験指導書改訂版について。2) 土質実験指導書改訂3版の計画について。3) その他。

(29) 本州四国耐震設計小委員会第37回幹事会(特別幹事会)(41.6.26) 出席者: 関係者 23名。議事: 省略。

(30) 軟弱地盤耐震設計研究委員会 第1回幹事会(41.6.27) 出席者: 久保幹事長, ほか15名。議事: 1) 昭和41年度の研究事項について。2) 今後の日程について。

(31) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会軽量骨材コンクリート分科会(41.6.27) 出席者: 国分委員長, 村田主査, ほか10名。議事: 1) 人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)の問題。2) 次期改訂について。

(32) 構造用軽量骨材に関する研究小委員会(41.6.27) 出席者: 国分委員長, 村田主査, ほか9名。議事: 1) 研究費予算配分について。2) 各委員の研究計画について。3) 委員会の運営方法について。4) その他。

(33) 第3回原子力土木技術委員会(41.6.27) 出席者: 左合委員長, ほか10名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 退避, 周辺整備に関する調査項目について。3) 理工学部における同位元素研究発表会について。4) 海洋汚染の問題について。5) 委員の追加について。

(34) 岩盤力学委員会編集委員会(41.6.28) 出席者: 岡本委員長, ほか8名。議事: 「岩盤力学」(単行本)の原稿整理(各章の調整外)。

(35) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(打合せ)(41.6.28) 出席者: 河野主査, ほか4名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂のための逐条審議。

(36) 会誌編集委員会(41.6.29) 出席者: 樋口委員長, 増岡新委員長, ほか26名。議事: 1) 委員会活動報告。2)

昭和 41 年度会誌 編集委員会構成について。3) 会誌編集方針について。4) 会誌委員会覚え書きについて。5) 投稿要項改訂について。6) 依頼原稿について。7) 巻頭論説について。8) マンスリートピックスの執筆について。9) その他。

(37) 本州四国第 12 回耐震設計小委員会 (41.7.4) 出席者: 関係者 35 名。議事: 省略。

(38) 岩盤力学委員会第 1 分科会 (第 1 回) (41.7.5) 出席者: 関係者 7 名。議事: 1) 運営委員会報告。2) 第 1 分科会の運営方針について。

(39) 岩盤力学委員会第 2 分科会 (第 1 回) (41.7.5) 出席者: 高橋主査, ほか 9 名。議事: 1) 運営委員会報告。2) 第 2 分科会運営方針について。3) シンポジウム, 講習会開催について。

(40) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 1 回) (41.7.5) 出席者: 山本主査, ほか 6 名。議事: 1) 運営委員会経過報告。2) 第 2 分科会の運営方針について。3) 今後の予定について。

(41) 岩盤力学委員会第 3 回運営委員会 (41.7.5) 出席者: 畑野副委員長, 色部幹事長, 山本主査, ほか 4 名。議事: 1) 前回議事録について。2) 各分科会の運営方針について。3) 編集委員会報告。4) シンポジウム, 講習会開催について。5) 国際岩盤力学会議について。6) 委員の交代。

(42) 第 2 回田中賞選考委員会 (41.7.5) 出席者: 福田委員長, 平井副委員長, ほか 11 名。議事: 1) 第 1 回委員会議事録について。2) 委員会内規について。3) 表彰規程の変更について。4) 賞の名称について。5) 資金の運営について。

(43) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会 (打合会) (41.7.5) 出席者: 河野主査, ほか 4 名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂のための逐条審議。

(44) 文献調査委員会 (41.7.5) 出席者: 松本委員長, ほか 15 名。議事: 1) 会誌 51 巻 9 号掲載抄録について。2) 解説記事について。3) 担当雑誌, 国際会議論文集の件。

(45) 会誌編集小委員会 (41.7.6) 出席者: 増岡委員長, ほか 7 名。議事: 1) 各項の報告。2) 会誌 51 巻 9 号編集の件。3) 豆知識担当者決定の件。4) 投稿要項改正の件。5) 特集企画の件。6) その他。

(46) 大学土木教育委員会第 1 回幹事会 (41.7.6) 出席者: 林委員長, 高橋幹事長, ほか 7 名。議事: 1) 第 1 回委員会 (5 月 10 日) 議事録の朗読, 訂正。2)

「土木工学の長期研究計画」(石原委員の申出)について討論。3) 大学生と工業専門高校卒業生等につき討議。4) 高校土木教育委員会との連絡について。5) 勉強会についての予定。6) アンケートについて。7) 「土木とは何か」について。8) 民間からの幹事推せんについて。9) 前回委員会議事録のまとめおよび発送について。

(47) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会 (打合会) (41.7.8) 出席者: 河野主査, ほか 3 名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂のための逐条審議。

(48) 会誌編集委員会書評小委員会 (41.7.8) 出席者: 高橋小委員長, ほか 6 名。議事: 1) 小委員会の説明 (新任委員のために)。2) 報告事項事務局担当。3) 受付図書について協議。4) 会誌 51 巻 8 号掲載図書の件。5) その他。

(49) 第 4 回原子力土木技術委員会 (41.7.11) 出席者: 左合委員長, ほか 8 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 退避, 周辺整備に関する調査項目について。3) 海洋汚染の問題について。4) 理工学における同位元素研究発表会について。5) 委員の追加について。

(50) 出版企画委員会幹事会 (41.7.11) 出席者: 春日屋委員長, 堺副委員長, 久保幹事長, ほか 3 名。議事: 1) 41 年度新刊出版物進行状況報告; 工事報告黒部川第四発電所外 20 点 (上半期 9 点, 下半期 12 点)。2) 41 年度出版企画委員会の運営および新刊の企画について。3) 工事報告天草架橋の出版について。4) その他。

(51) 第 1 回軟弱地盤耐震設計研究委員会 (41.7.14) 出席者: 岡本委員長, ほか 24 名。議事: 1) 挨拶。2) 昭和 40 年度経過報告。3) 昭和 41 年度研究項目の検討と討論。4) 今後の日程について。

(52) PC 工法小委員会 (MDC 工法) (41.7.14) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか 18 名。議事: プレストレストコンクリート計設施工指針 (案) MDC 工法設計編の逐条審議。

(53) 海外連絡委員会 (41.7.14) 出席者: 伊藤委員長, 伊藤幹事長, ほか 5 名。議事: 1) Civil Engineering in Japan, 1966 年報告。2) 委員会の今後の方針。3) その他。

(54) 土木年鑑編集委員会第 6 編調整会 (41.7.15) 出席者: 内山主査, ほか 7 名。議事: 1) 第 6 編の原稿相互調整。2) 修正箇所の採出修正, 依頼。

(55) 第 7 回トンネル土圧調査小委員

会 (41.7.15) 出席者: 村山委員長, ほか 10 名。議事: 1) 講演「神居トンネルの測定について」; 国鉄東京第 2 工務局 後藤 巖氏。2) 岩盤力学委員会第 2 分科会 (トンネル) について。3) シンポジウムについて。4) 小委員会のあり方について。5) 次回小委員会の議事について。6) その他。

(56) 本州四国打合会 (41.7.15) 出席者: 関係者 2 名。議事: 省略。

(57) 第 7 回土木製図基準改訂委員会 (41.7.15) 出席者: 菊池委員長, ほか 11 名。議事: 土木製図基準 (I) の改訂につき幹事作成の原稿原案 (コンクリート編) 逐条審議。

(58) 土木年鑑編集委員会口絵写真編集打合会 (41.7.15) 出席者: 関係者 2 名。議事: 土木年鑑口絵に搭載する工事件名のリストアップ。

(59) 第 20 回学術講演連絡委員会 (41.7.18) 出席者: 久保委員長, ほか 11 名。議事: 昭和 42 年度第 22 回年次学術講演会の実施要綱について。

◎その他

(1) 海外連絡委員会在日研修員のための第 1 回「土木学会のつどい」(41.5.13, 土木学会土木図書館) 出席者: 道路, 測量, 港湾, 地震工学, 水力発電など土木技術者 12 カ国 17 名, ほか委員 8 名。記事: この催しは, 日本で研修中の土木技術者を招き, わが国の土木技術の紹介等を通して各国土木技術者との友好と親善を深めることを目的としたもので今回が初めての試みであった。

(2) 日本地震工学シンポジウム (1966) 運営委員会幹事会 (41.6.24, 日本建築学会会議室) 出席者: 関係者 3 名。議事: 1) プログラムの編成。2) 参加募集方法について。3) 今後の準備作業について。

(3) コンクリート関係有志懇談会 (41.6.25, 土木図書館 5 号室) 出席者: 一般参加者 50 名。受賞者 13 名。

(4) 長径間吊橋の耐風設計に関する講習会 (41.6.28)

場 所: 大和証券ホール

参加者: 253 名

演 題: 8 題

(5) 日本地震工学シンポジウム (1966) 運営委員会 (第 7 回) (41.7.7, 日本建築学会会議室) 出席者: 関係者 6 名。議事: 1) 参加募集方法について。2) 今後の準備作業について。3) プログラムについて。4) 懇親会, 見学会について。5) その他。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 幹事会(41.4.22, 仙台三越食堂別室)出席者:大宮委員, ほか14名。

(2) 商議員会(41.5.2, 建設会館)出席者:河上支部長, ほか9名。

(3) 支部総会(41.5.10, グランドホテル仙台)出席者:河上支部長, ほか26名。総会次第:①開会のことば, ②支部長挨拶, ③議長選出, ④議事; ⑤昭和40年度事業報告および決算報告ならびに会計監査報告, ⑥昭和41年度事業計画および予算報告, ⑦支部役員の変更の報告, ⑧本部評議員の変更, ⑨新支部長挨拶, ⑩閉会のことば, ⑪懇親会。

(4) 幹事会(41.6.10, 仙台三越食堂別室)出席者:横戸幹事長, ほか15名。議題:昭和41年度事業計画, その他。

(5) 役員会(41.6.21, グランドホテル仙台)出席者:河上支部長, ほか26名。議事:昭和41年度事業計画について。その他, 前支部長佐藤 史氏送別屋食会。

◎関東支部

(1) 第3回幹事会(41.6.10, 土木学会)出席者:堺幹事長, ほか11名。議事:行事の具体的計画について。

(2) 第4回幹事会(41.7.8, 土木学

会)出席者:堺幹事長, ほか9名。議事:見学会, 講習会について。

(3) 第5回幹事会(41.8.9, 土木学会)出席者:当山支部長, 堺幹事長, ほか5名。議事:講習会, 講演会について。

(4) 首都高速道路見学会(41.5.19)参加者:85名。

(5) 夏のエキスカッション(41.8.4~5)参加者:35名。

◎関西支部

(1) 第1回見学会(神戸地区土木工事見学会)(41.6.7)

見学先:1. 摩耶大橋 2. 六甲山トンネル 3. 西神戸地区防潮堤

参加者:174名 参加費 200円

(2) 土木構造物のあり方について座談会(第4回)(41.6.14, 大阪科学技術センター4階402号室)

出席者	稲田 尚之	京都市立美術大学助教授
	紙谷 齊治	不動産建設KK常務取締役
	桐山 宗吉	兵庫県観光連盟専務理事
	清水 又一	阪神電気鉄道KK専務取締役

調 強	大阪府土木部長
高岡 宣善	京都大学助教授
棚橋 諒	京都大学教授
東知 謙三	KK東知建築事務所社長
三野 定	近畿地方建設局長
原島 竜一	国鉄大阪第二工務局次長
小西 一郎	支部長
伊藤 富雄	幹事長
川崎 精一	担当幹事

(3) 第1回商議員会(41.6.24, 土木

学会関西支部会議室)出席者:小西支部長, ほか商議員19名(委任状5通), 評議員5名, 伊藤幹事長。

(4) 第1回幹事会(41.6.3, 土木学会関西支部会議室)出席者:小西支部長, 伊藤幹事長, ほか19名。

(5) 第2回幹事会(41.6.24, 土木学会関西支部会議室)出席者:小西支部長, 伊藤幹事長, ほか14名。

(6) 第1回事務所建設計画準備委員会(41.6.8, 好文倶楽部)出席者:10名。

(7) 土木構造物の振動と安全性に関する講習会(41.6.21~22, 愛知県産業貿易会館)共催:土木学会中部支部・土木学会関西支部, 参加者:189名。

(8) 騒音振動委員会委員委嘱

つぎのとおり追加した。

委員 島 昭次郎(京都大学教授)

木村 住雄(KK竹中工務店技術部技術課長)

(9) 第2回騒音振動委員会(41.6.27, 土木学会関西支部会議室)出席者:庄司委員長, ほか委員8名, 畑中幹事長, ほか幹事4名。

(10) 第3回騒音振動委員会(41.7.20, 土木学会関西支部会議室)出席者:庄司委員長, ほか7名, 畑中幹事長, ほか幹事5名。

(11) 第3回幹事会(41.7.19, 好文倶楽部)出席者:小西支部長, 伊藤幹事長, ほか16名。

編 集 後 記

本誌51巻7月号編集後記の樋口前委員長の退任あいさつに呼応して新委員の皮切りとして本欄を書けとのこと。各職域から選出された若手委員の顔色にはなみなみならぬハッスルした雰囲気がこのような結果になったものと思ってお引受けしたところ, まず抱負を書けと追討をかけられる始末。そこで優秀な素質のある本委員をいかにしたら活用できるかと, ひそかに失礼ながら考えを練っています。ZO (Zero Defects) 計画手法でも導入しようかと思っています。各委員が主役であり, 提案者であり, 委員長は提案するよう動機づけるワキ役でよいからです。ZO計画はよき提案者には表彰するのが常道ですが, これについてどのよう

に対処するか。こんなことまで思いを致すのも高度化, 専門化する土木工学分野, 躍進する土木技術, そして威大なる社会開発の担手としての学会員の役割という土木界の動向を格調高く, タイミングよく, 多くの会員の親しい存在として編集するという技術はまさしく高度の技術であるからです。最近の八十島, 樋口内閣は学会誌の評価の高度成長時期をもたらしましたが, このルールに安心して乗ってゆきたのですが, このような成長時代とにかくひずみが生じやすいようで, 政府自らそのモデルを提示しております折から, 編集委員一同もう一度本誌をめぐる長期計画の議論をやってみたく思っております。

何も性格の違う一般営業土木雑誌

と比較するつもりはありませんが, 本誌に載る毎月の文献調査委員会の目録をみても, いい特色を出しているものが眼につきます。2万を越える会員と30を越える各種専門委員会や全国に強力な支部をもっている土木学会ですからその潜在力をいかにひき出すかが焦点と思っています。学会会計からみても会費が最大の収入であり, 本誌が最大の支出費ですから緊張せざるを得ませんが, ともかく各種委員会や各支部の動勢をよくキャッチしなから横の連絡に意を払って, 伝統に輝く本誌に本委員, 編集課員一同, 知恵をしぼるつもりです。毎月毎月現物が会員の皆様様に届くのですから逃げかくれできないきびしさと夢を感じながら。

[増岡・記]